

2024 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	工業簿記 2 (Industrial Bookkeeping 2) 2037-3-23-116					担当教員	中村 大輔 (ナカムラ ダイスケ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	2 年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型 AL/資格対応科目								

① 授業のねらい・概要

1 年次配当の簿記入門では商品売買業における基本的な簿記を学んだ。工業簿記 1・2 では製造業における簿記を学ぶ。工業簿記 2 では日商簿記検定 2 級における工業簿記の範囲の中でも応用的な総合原価計算、本社工場会計、標準原価計算、直接原価計算および CVP 分析について学ぶ。本講義は事務・経理職のスペシャリストを目指すために必須の知識であり、日商簿記 2 級対応科目である。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

職業人として通用する能力/専門的知識・技能を活用する能力

③ 授業の進め方・指示事項

授業は講義・演習に PC を用いるので PC 必携である。毎回電卓を持参すること。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

「商業簿記 1」「商業簿記 2」「工業簿記 1」と共に履修することを強く推奨する。

⑤ テキスト (教科書)

紙の教科書は用いない。代わりとして『Funda 簿記』という PC を用いたシステムを利用し、個人アカウントを購入してもらう。(「商業簿記 2」「工業簿記 1」「工業簿記 2」すべて共通)

⑥ 参考図書・指定図書

各年度に対応した予想問題集等。必要に応じて紹介する。

⑦ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安

- (i) 総合原価計算について理解し、検定試験レベルの問題を解くことができる
- (i) 本社工場会計について理解し、検定試験レベルの問題を解くことができる
- (iii) 標準原価計算および直接原価計算 (CVP 分析) について理解し、検定試験レベルの問題を解くことができる

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 総合原価計算の理解	難易度の高い検定試験レベルの仕訳問題を解くことができる	標準的な検定試験レベルの仕訳問題を合格レベルで解くことができる	検定試験レベルの問題は合格レベルに達していないが、基本的レベルの問題はほぼ正答できる	基本的レベルの仕訳問題について6割程度正答できる	基本的レベルの仕訳問題について正答できるのは6割未満である
(ii) 本社工場会計についての理解	難易度の高い検定試験レベルの原価計算ができる	標準的な検定試験レベルの原価計算問題を合格レベルで解くことができる	検定試験レベルの問題は合格レベルに達していないが、基本的レベルの問題はほぼ正答できる	基本的レベルの原価計算問題について6割程度正答できる	基本的レベルの原価計算問題について正答できるのは6割未満である
(iii) 標準および直接原価計算についての理解	難易度の高い検定試験レベルの原価計算ができる	標準的な検定試験レベルの原価計算問題を合格レベルで解くことができる	検定試験レベルの問題は合格レベルに達していないが、基本的レベルの問題はほぼ正答できる	基本的レベルの原価計算問題について6割程度正答できる	基本的レベルの原価計算問題について正答できるのは6割未満である

⑨ 学習到達目標（評価項目）	定期試験（レポート含む）	小テスト	課題	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	80%	20%					100%
(i) 総合原価計算の理解	35%	8%					43%
(ii) 本社工場会計についての理解	10%	4%					14%
(iii) 標準および直接原価計算についての理解	35%	8%					43%
フィードバックの方法	小テストは採点して解答解説とともに返却する。						

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
Funda 簿記のシステムを利用することで、各自の理解度に合わせた問題を出題するなど、システムの良い点を活かしたい。

⑪ 授業計画と学習課題

回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	ガイダンス、単純総合原価計算	予習：個別原価計算と総合原価計算の違いを理解し、最も単純な総合原価計算ができるようにする復習：指示された問題を解く	120 分
2	工程別総合原価計算	予習：累加法における工程別総合原価計算を理解する 復習：指示された問題を解く	120 分
3	組別総合原価計算	予習：組別総合原価計算を理解する 復習：指示された問題を解く	120 分
4	等級別総合原価計算	予習：等級別総合原価計算を理解する 復習：指示された問題を解く	120 分
5	仕損減損の処理	予習：総合原価計算における仕損減損の処理について理解する復習：指示された問題を解く	120 分
6	材料の追加投入	予習：総合原価計算における材料の追加投入について理解する復習：指示された問題を解く	120 分
7	総合原価計算問題演習	予習・復習：指示された問題を解く	120 分
8	工業簿記における財務諸表、本社工場会計	予習：原価差異の記載方法を理解する。 復習：指示された問題を解く	120 分
9	標準原価の計算、仕掛品勘定の記入方法	予習：標準原価の計算方法と原価差異の把握について理解しておく 復習：指示された問題を解く	120 分
10	直接材料費差異、直接労務費差異の分析	予習：直接材料費差異と直接労務費差異の分析方法特にボックス図が書けるようにする 復習：指示された問題を解く	120 分
11	製造間接費差異の分析	予習：製造間接費差異の分析について公式法変動予算、固定予算のどちらも理解できるようにする 復習：指示された問題を解く	120 分
12	標準原価計算問題演習	予習・復習：指示された問題を解く	120 分
13	直接原価計算の損益計算書と固定費調整	予習：全部原価計算と直接原価計算の違いを損益計算書と関わらせて理解する 復習：指示された問題を解く	120 分
14	CVP 分析	予習：CVP 分析について公式ではなく考え方を理解する 復習：指示された問題を解く	120 分
15	まとめ	予習・復習：指示された問題を解く	120 分

⑫ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL を採用する。適宜小テストや課題等を行い、その解説を行うことで知識の定着を図る。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性